



米國將兵の行動に親愛の念をもつて接しましょう

さる月二十四日米國海兵隊が奈良に駐泊して來ました。既設のつらばな施設が奈良にあるため、軍隊の當地に駐泊することは避けられぬ現状にあると思ふ。今度の部隊は駐泊朝鮮婦休兵にかつてのことになつたもので、いづれにせよ、われ

の兵士が誤つて一般市民な
どを騒がして一般市民にも
好ましくない不安を呼び起
したようですが、その後米
軍当局では該兵士に対して

れは米國將兵がすべてりつばな行動をとり、奈良市民と正しい親愛の念をもつて接しられることを希望しています。

昭和28年9月15日印刷
昭和28年9月15日発行

【第37号】

發行所
奈良市役所
編集兼 市民課長
發行人 大西一之
印刷所 共同印刷工業

また夜間遅くやむを得ず寂しい場所へ外出したり、帰宅される、とくに婦人の方には、よりの派出所や警察中の警察官にその事情を申出られまして、さらさつそく付添つて送り迎えします。現在自分のある場所を電話などではつきり連絡されずとも、警官がその場へ出掛けて保護することになっていきますからよく自分の立場

や事情を考へて必要の時
は遠慮なく申出て下さ
い。なお婦女子の方は常
日ごろ服装態度に注意し
夜遅く、ことに単独の外
出は避けて下さるよう希
望します。一般民家に米
兵の立寄りますのは特別
の場合のほかは道を尋ね
たり、何かを捜している
のですから、わからぬ時
ははつきりとしつかりし
た態度で「ノー、ノー」と
いえばよいと思います。
す。いづれにしてもよほ
どの突発事態でない限り
市民皆さんの構えと態度
をば決して取立て、危が
念を抱かれることはな
いと思ひます。

(山口市警署長談)

これからの……
稲作管理について

▲白穂刈りの跡行

▲いちも病の防除
葉いもち病の多かつた所
や穂首いもち病が発生しな
り或は発生のおそれのある
田では穂擡期（開花期をさ
ける）に八斗式石灰三倍量
ボルドー液に腰着剤を加用
して反当り一石以上を撒布
して下さい。

市立小學校の今昔

大安寺小学校

奈良市の南西部南都七宝寺の伽藍としてその普賢聖像を収めた大安寺も時移りと共に僅かに往時の名残をのみめる境内に大安寺小學校が設けられてゐる。本校の沿革は古く明治七年四月當時の添上郡大安寺村・八條村・柏木村連合して小學校を組織し真言院建造物を借り受け、盛明館と称し開校したのがその創設であると同時に八條村に分校をも置き翌八年二月には同建物を及び數地の払下げを得大安寺村共有となつたが坪僅か三十坪、運動場二十五坪の狭隘なものである。

消火栓鉄ブタの

盜難監視に御協力願います

一時金銀製品、盗難が盛
ましかつた頃から、消火栓
の鉄柱も亦その難を免れ
ず、頻々として盗難にか
りました。その為消火栓に
覆芥土砂が詰つて一朝事
ある場合に早速間に合わない
様な心配も起つたり、又実
際に交通上の危険の生じた
事もありました。消防の活
動は一般市民の生命財産を
護る重大なる役割であつて
消火に對する各施設は極め
さい。

製のもが最も好ましいの
であります。現在残つてい
る鉄柱をこれ以上失わな
い様特に市民の皆さんに御
協力をお願い致します。

お宅附近に鉄柱が設置
されてありますものには日
頃から御注意下さる様お願
い致します。又万一盗難を
見られました時は早速消防
本部へ電話（三三七〇）一
夜二八二〇）にお知らせ下
さい。

「ありがとう

福岡県から災
害見舞の礼状

奈良市のみなさん—

ます。
既に御承知の如く今回の災害はこれまでの記録にもない豪雨により県内各河川

職員十名、敷地二千余坪、校舎建坪三四〇坪の美しい環境と古い伝統の中に常に新しい市民としての真実を求め日々の努力を怠らぬ。創立以來七十幾年の永い沿革をひるがえる時、歴代校長並に、職員に地域に關した学校運営に對する絶ざる努力と村・市当局並に父兄や地元の人々の深く愛しい協力のおかげで遂年の校舎發展に歴然と残されてゐる。

更に現在は校区へ上水道を導入と同時に校内水道設備完備の計画が進められ更に希望の校舎改築実現を目にひかえ全児童は大きく希望に胸をふくらませながら明るい楽しい学習生活にげんでいる。

◆ ◆

この空前の災害に対しま
た国内各地からはもちろん
遠く海外からも温い救援
の手が寄せられ、

ここに被災者一同にかわりまして衷心より感謝の意を表しますとともに復旧再建の一日も速かならんこと

引火物附近での使用は禁物

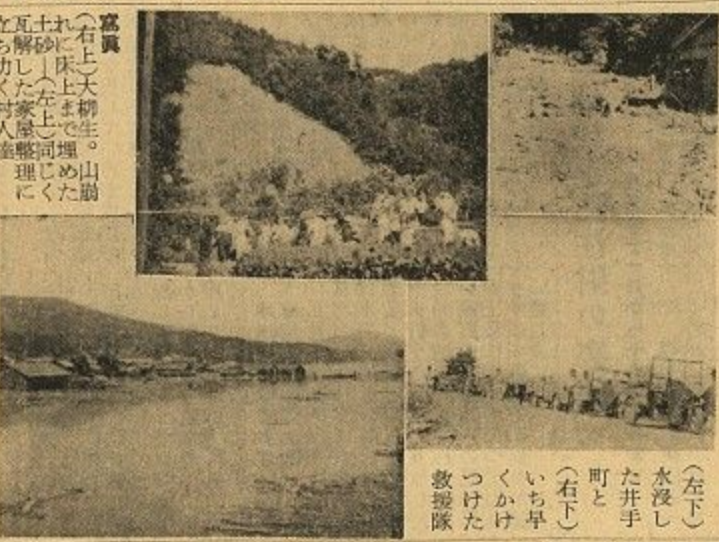
石油コンロについて

「奈良市週報を御覧下さい」
市民によりと併

「奈良市週報」欄に御留意下さる様お伝えいたします。

保安隊員の募集
昭和二十八年年度

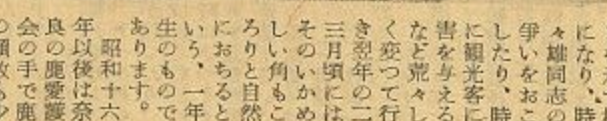
今国保安庁では保安隊員
欠員補充のため約八、〇
〇名の隊員が新たに採用
れる事になりました。
募集は九月中旬より行わ
れ、十月十五日に締切られ
す、入隊の予定は来年一
月中旬となっています
応募についての詳しい事
市民課にお問合せ下さい
なお応募資格は十八才以
上、一五五釐以上、胸囲七七、
五釐以上（身長は二分の一
以上）、体重四八斤以上、眼
鏡を使用せずして〇、六以
上又は誤鏡を用いて〇、八
以上の視力があり弁色力完
全、聴力正常、体軀完全身
体強健、伝染性疾患、慢性
疾患、奇形及び四肢関係障
害等の異状なき者となつて
います。



「奈良市週報を御覧下さい」
市民によりと併行して
奈良市政について、いろいろ市民の方々にお知らせいたします事柄は、從來より皆様に親しまれていました。本紙「市民だより」に掲載いたしておりますが、何分本紙は毎月十五日一回発行の月刊となつていますので、その間に発表せねばならない大事な事項につきましては毎週月曜日大和タイムス及び奈良日々新聞紙に「奈良市週報」欄を設けて発表いたしております。又各町内に必要な各種行事等をお伝えするため、その都度町内備付の掲示板を利用いたして居りますので併せて御覧下さい。
なお特に月曜日の大和タイムス及び奈良日々紙上の

十三年ぶりに復活

奈良の鹿は皆さんも御承知の通り、藤原氏が氏神として春日大社を建立する時常陸の国の鹿島神社から武甕槌命をお迎えする時、白鹿に乗つてこられたといふところから、春日大社の神鹿として、藤原氏は勿論の事、一般の人々から大事にされ、今から七百年程前にはこの神鹿を中心とした掛軸（春日曼荼羅といふ）をつくり、春日講といふものを組織し正月にはこの掛軸を床にかけて集合し、五穀の豊年を祈つた程であつた。徳川時代には神鹿の殺害を厳禁して神鹿の保護にあたる一方、更に鹿守りをおいて、野犬や畜犬の取締りをやるなど仲々この神鹿を大切にしたものであつ



さを示す地
になり、時
々雄同志の
争いをとお
したり、時
に観光客に
害を与える
など荒々し
く突つて行
き翌年の二
三月頃には
そのいかめ
しい角もこ
ろりと自然

土地
家屋
の
賣買と税處理

買契約の際にその年度分の税金をどちら側で納付するかと云ふことを売買契約者双方において明確にしておくべきだと思います
尚詳細は税務課へお問合せ下さい



史跡巡り

行かれ、神主の手に角があたるこゝ角を切りおとされる。

この寺は実に堂々たる古い建物が建ちならんでいます。天平随一で歐洲の昔の宮殿のような雄渾な柱のならんだ金堂、平城宮の壮麗さを偲ばせる朝集殿を移

市民の御協力を

建した講堂、複雑な鎌倉時代の様式をつたえている礼堂と僧坊、中国風の感じのする鼓枱等等、七堂伽藍が

二市競輪

ないこの立派な寺の静寂さこそ律宗の辯本山であるの感を深くいたします。

国鉄奈良驛前に

迄の六日間連続にて奈良市秋篠町奈良県営競輪場にて開催することになったが、特に今回の二市競輪は初の六桿制を実施し加えて有名選手を網羅しているので好レースと好配当が期待されている。

史跡巡り

西の京（その二）
若々しい希望に満ちた

市民の聲

御承知のように現在市で
昨年度より綜合運動場の
設と共に、鶴也付近の道各

御安心願いたい

堤防の軟弱対策
市民の協力も
投書の要旨内容

年寄りを大切に

月十五日は、「老人の
でありました。この日
改まつて老人に尽すと
せん。

豊務課長
都市計画課長

市内在住の高令者で八十
八才以上の方は、三十名お

本市で畜産品評会

九月廿九日開催

野、高木各技師の他農業
良善及所から安田技師
に當ることになりその結果
等二点、一等四点、二等
三、三等十六点には市長
県知事賞、市会議長賞、
業共済組合連合会長賞、
業協同組合連合会長賞等
に附される。
なお参加賞は出品者全員
に対し授けられます
（詳細は農務課で）

百日咳予防注射の実施

九月二十一日から十一月五日まで	
きにお知らせいたしま す。当日暖注射は次の 施行されます。	(2) 昨年度完了接種者（ これは追加接種いたしま す。）
当者は昭和二十七年七月一 日から本年六月末日まで 出生児	(3) 昨年度該当者で予防 接種を受けなかつた者（ 臨時注射をいたします）
接種日	▲日時と場所
一回 第二回 第三回	接種場所 接種区域
十月十日 十月十六日 十月二十二日 十一月四日 十一月十一日	東市診療所 東市支内所 平城診療所 平城支内所 都跡診療所 都跡支内所 大安寺診療所 大安寺支内所 奈良診療所 旧市内

九月 二十一日	十月 十三日	十一月 四日	第一回	第二回	第三回	接 種 日
九月 二十五日	十月 十六日	十一月 六日	東市診療所	平城診療所	都跡診療所	接種場所
九月 二十四日	十月 十四日	十一月 五日	東市支内所	平城支内所	都跡支内所	接種区域
診療所	安寺區	大安寺支内所	東市支内所	平城支内所	都跡支内所	接種區域
奈良診療所	舊市內					

人々に与えるようになったのが今の団扇撒の行事であります。その外六月六日の鑑真の命日には鑑真の霊を祀る法会が行われます。吾々市民も当日は是非参拜したいものです。

若葉しておん身の涙
ぬくはばや（芭蕉）

（次は大安寺から）

いにおうとしたところ、そのまゝにしておいて下さい。血をあたえる事も仏の道です」と悟されたという事です。それで覺盛上人の死後、その命日である五月十九日に追慕のしるしの團扇を靈前に供えておまつりすることになったのですが、後にこの團扇を一般の

この行事の起りは今から約七百数十年の昔にかえります。鎌倉時代に覚盛という坊様がいて、この寺の再興にあたつていましたが、夏の哉日、色々とお祀りの行事を行つていた際、蚊が群つて参りましたが、覚盛は之を追うともせず静かに坐していたので、見兼ねた法華寺の尼弟子達が之を追

て建築學上最も大切にされてゐる寺であります。

この寺は坊様の修養を主に建てられた寺だけに大変日常生活も嚴格でありましたが、その厳しい寺にも今も尙厳しい行事が行われてゐます。それは五月十九日に行われる回廊撒の行事であります。

この寺はもと鑑真が私の寺として建立されたのですが、後に東大寺や薬師寺などと同じように国家の大本寺として南都七大本寺の一に数えられるようになりました。不思議な事に他の寺々には火災などで大部分消失してしまいますが、この寺は大部分創立当時の建物が残っています。

ませんでした。しかし和上
は万難を排して東大寺の金
堂前に戒壇を築き孝謙天皇
をはじめ多くの僧侶に戒を
授け、その後、東大寺の西
に戒壇院を建て、ともすれ
ば乱れようとする坊様の修
養に全力を尽されました。
その御礼として天皇より新
田部親王の旧宅をいただき
、そこに寺を建てて更に
坊様の修養にとめられた
のがこの誓智皇寺でありま